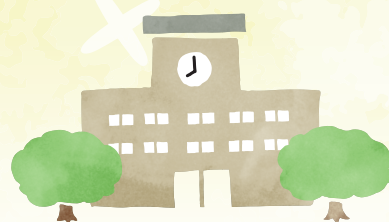


筑波大学附属小学校 算数研究部
森本先生、田中先生に聞く

『見方・考え方を育てる 算数授業のポイント』

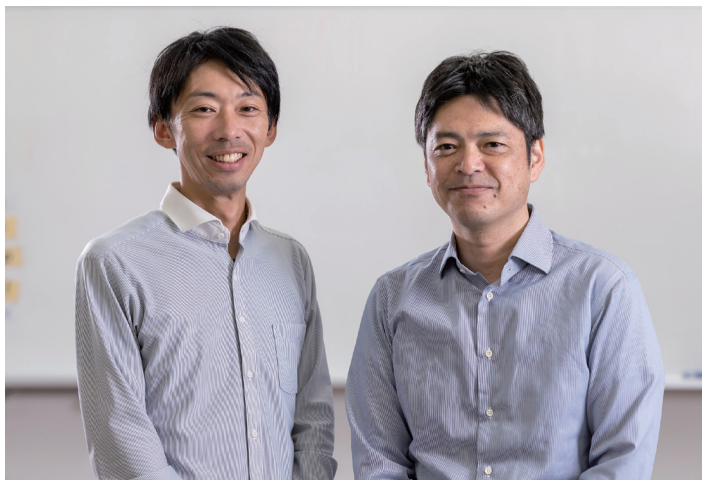
教室には理解の早い子もいれば、遅い子もいます。さまざまな学力の子供たちがいる中で、教師が子供たちに「数学的な見方・考え方」を育むためには、どのような授業をすればいいでしょうか。「アイテム算数」の問題制作に関わる筑波大学附属小学校 算数研究部の森本隆史教諭と田中英海教諭に、授業づくりのポイントを伺いました。



子供の見方・考え方を育む 教師の言葉がけと振る舞い

田中英海教諭は「数学的な見方・考え方」を育む授業のポイントとして、「いったん止まる」ことを意識しているといいます。たとえば、“数字が大きいから分けると小さくなる”といった子供の着眼点や、なぜその解き方でやろうと思ったのか、子供たちが持った視点に対して、「どういうこと?」「なぜ、そう思ったの?」と立ち止まって問い返すというのです。「理解の遅い子も気づかなかった視点を知ることによって、『そう考えればいいのか!』とすることができます。子供の発言を受けてすぐに進むのではなく、考えるための時間を設けていること、全体で共有すること、そんな授業を組み立てることが見方・考え方を伸ばすうえで大切だと思います」と田中教諭は語っています。

森本隆史教諭は、見方・考え方を育む前段階として、多くの教師が授業でやってしまいがちな、「わかった?」という言葉がけをやめることから始めてほしいといいます。教師が「わかった?」と聞くと、当然、わかっている子供しか反応しません。そうではなく、わからない子が発言しや



筑波大学附属小学校 算数研究部 田中英海教諭（左）・森本隆史教諭（右）

すいよう、教師は「今の話は難しかった?」「今の話はどうだった?」と言葉がけを変えてほしいというのです。「学習で困っている子は、そもそもこの話をしているのか、どこを見ればいいのか、わからない場合があります。しかし、教師はわかっている子の発言で授業を進めてしまいがちです。教師の聞き方ひとつで子供たちの心のハードルが下がり、そこから授業や学習態度が少しずつ変わります。まずは、そうした小さなことから始めてほしいですね」と森本教諭は語っています。



item 算数の中にある指導のヒント

学力差のある子供たちに対して、アイテム算数をどのように活用していくのが良いのでしょうか。

森本教諭は、アイテム算数を授業で活用する際、導入の「練習しよう」と習得の「たしかなものにしよう」は、基礎的な内容なのでどの学校のどの子供たちも取り組んでほしいといいます。一方で、活用の「見方・考え方を広げよう」と探究の「チャレンジしよう」は、できる子が発展問題として取り組むのはもちろん、教師の教材研究に生かしてほしいと語っています。

「忙しい先生方は教材研究の時間も少なく、いろいろなものを見るのはむずかしいでしょう。その点、アイテム算数には教師が問題を見ると授業がイメージできるような、はっと気づける問題を多く掲載しています。見方・考え方を育めるよう、ちょっと見方を変えると広がりが出る問題や、図や表を多く取り入れて、子供たちの思考を助ける工夫もしています。教師も子供たちも高確率で面白いと思える問題に出合えるので授業に生かしてほしいですね」（森本教諭）。

授業展開を再現した「授業でわかる！」 言葉がけのヒントに

また田中教諭は、筑波大学附属小学校 算数研究部のおもしろ授業を紙面で再現した「授業でわかる！」のコーナーを、児童への言葉がけのヒントにしてほしいといいます。「自分が実践してきた授業をさらに改善して、子供たちが自分でも解けるように編集しました。子供がつまずきそう



な時の言葉がけや、子供の反応をもとに次に提示する問題など授業展開がイメージしやすくなっているのも、ぜひ授業で試してみてください」（田中教諭）。

「アイテムプラス」で 補充プリントも利用できる

アイテム算数には教師用の支援ツール「アイテムプラス」に登録されている補充プリントも活用できます。次世代教育推進機構のウェブサイトからダウンロードして利用できるもので、子供たちの習熟度に合わせて教師が問題を選択し、印刷して使うことができます。このほか、単元のページ下にある「計算ドリルプリント」もダウンロード可能。オプションでスマートフォンやタブレットなどで閲覧できるアイテム算数のデジタルブック「eTEXT Web」も児童用に用意されています。



ご審査用見本お届けします。
こちらからお申込み下さい！

普及
発行



特定非営利活動法人
次世代教育推進機構
for Education of Next Generation



教育開発出版株式会社

〒168-0073
東京都杉並区下高井戸1-39-12
TEL.03-3304-5314
FAX.03-3304-5010